



頑張るあなたを
応援するコーナーです



佐世保高専のチームが
「ツマアカズメバチの防除支援システム」の
研究で2つの賞を受賞

受賞歴

- 👑「令和2年度社会実装教育フォーラム」
2021年3月「最優秀社会実装賞」受賞
- 👑「高専ワイヤレスIoTコンテスト2020 (WiCON2020)」
2021年4月「最優秀賞 (総務大臣賞)」受賞



“身近な問題を 自分たちの技術で 解決する”

佐世保高専のチームによる「ツマアカスズメバチの防除支援システム」の研究が、2つのコンテストで最優秀賞を受賞。研究メンバーの道上さんと出井さんに受賞の喜びや研究内容などについて聞きました。

— 受賞おめでとうございます。
受賞された研究の内容についてお聞かせください。

道上 長崎県対馬市では養蜂業が盛んですが、近年、外来種「ツマアカスズメバチ」による在来ミツバチの捕食が問題となっています。そこで、私たち佐世保高専のチームがツマアカスズメバチの防除支援システム「HOR-net」を開発しました。このシステムは、森に小さなデバイスを複数設置してツマアカスズメバチの羽音を集音・解析することで巣の場所を特定し、駆除活動を支援します。

— 研究で苦労したことは？

道上 プロジェクトリーダーを務めたが、チームでの研究開発は初めてで、どうタスクを分けるか、誰がどの分野が得意か、などを考慮しなければならず、苦労しました。

出井 センシングデバイスの製作を担当しましたが、デバイスを複数個作る必要があり、人手不足でほとんどの作業を1人で行ったことが一番苦労しました。

— 研究をして良かったことは？

道上 通常の研究では、一分野に對しての理解を深めていくことが多いですが、本研究では様々な分野の知識が必要であったため、IoTや組み込み開発、音解析技術など多岐にわたる分野を学ぶことができました。また、専門技術の勉学に限らず、メールの作法や名刺交換といった



Profile

佐世保工業高等専門学校
電気電子工学科5年

出井 和音 (19歳)
IDEI KAZUNE



Profile

佐世保工業高等専門学校
複合工学専攻 電気電子工学系2年

道上 峻介 (21歳)
MICHIGAMI SHUNSUKE

ビジネスマナーについても学ぶことができました。

出井 対馬の現状を詳しく知ることができました。また、研究を進めるうえで、それまで触ったことがなかったマイコンをある程度使えるようになり、自身のスキル向上につながったと感じています。

—受賞したお気持ちを聞かせてください。

道上 私たちが努力し作り上げたものが高い評価をいただけることは大変光栄で励みになります。今回の開発は指導教員の猪原准教授をはじめ、対馬市役所様や養蜂家の方、佐世保高専の事務員のご助力のおかげです。

出井 約半年かけた研究が最優秀賞に選ばれたことは素直に嬉しいです。そして、この研究にお力添えくださったすべての皆様に感謝申し上げます。

—小さい頃から、もの作りが好きだったのでしょうか。

道上 小さい頃から好きでした。中学生の頃、ロボコンで全国大会へ出場しました。今、ものづくりをしているのはこの頃にもづくりの楽しさ、素晴らしさを知ったからです。

出井 小中学生の頃から電子工作をしていました。誕生日プレゼントに半田ごてを買ってもらい、自分で電子工作のキットを買いながら楽しんでいました。

—佐世保高専に進学され、学校生活はいかがですか。

道上 専門技術を学ぶことができ、興味ある分野の教員に知りたいことをすぐに質問でき、とても有意義に過ごしています。

出井 高専で新しくできた友人もたくさんいて、毎日楽しい学校生活を送っています。

—将来の夢を教えてください。

道上 生活が便利になる「もの」を開発し、社会実装を行いたいんです。そのために今は勉学に励み、自分を磨きます。

出井 回路を作ることや電源に関するものに興味があるので、回路設計系または電源系の仕事ができれば良いですね。

—ありがとうございました。今後の活躍を楽しみにしています。



▲左から指導教員の猪原 武士 准教授、出井さん、道上さん